

130101病院における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	14~15	勤務している病院の2Fから3Fへと続く階段にて、患者のリハビリ中に階段を踏み外し、足を捻って負傷した。	26	19	413	50~ 99
2	2017	12	23~24	詰め所内にて、机に座り書きものを終えたあと、立ち上がろうとしたとき、机の脚とイスの脚の間に自分の左足が挟まったまま左横に転倒した。	45	2	911	300 ~ 499
3	2017	12	16~17	ごみを乗せた大小2台の台車を片手ずつ前後で持って移動していたところ、段差で前の台車が傾いたのを止めようとして、右手で保持した。その後、背中と右上肢の痛みが出現し、湿布を貼ったが痛みが持続した。	64	19	921	300 ~ 499
4	2017	12	15~16	病室前の廊下にて、入浴予定の患者が入浴可能であるかを確認するため、担当の看護師を探していた。当日は欠勤者もあり、予定よりも早く入浴を開始するために慌てており、そのため足を滑らせて転倒し、右手を受傷した。	57	2	417	100 ~ 299
5	2017	12	9~10	看護助手2名で当直室のシーツ交換を行う時、壁に寄せてあったベットを人が入る位に開け、新しいシーツを取ろうとした時、ベットの脚に右足を引っ掛け、右斜め前にうつ伏せに倒れると同時に反射的に左膝が出て床に強く打ちつけ左膝蓋骨を骨折した。	62	2	391	100 ~ 299
6	2017	12	7~8	出勤し、職員駐車場に車を駐車してから就業場所である病院建物に移動中、道路と病院施設内駐車場の境に張りつけてあるチェーンに左足が引っかかり転倒し、右上腕と、左大腿部を負	49	2	419	—

				傷した。				
7	2017	12	10~11	社内の栄養課調理下処理室にて、野菜の切り込み作業をしていた際に、誤って包丁で左手親指を切ってしまった。	19	8	364	30~ 49
8	2017	11	14~ 15	病棟にて患者様を車椅子に移乗させる介助中に腰を捻じる。	39	19	921	100 ~ 299
9	2017	11	18~ 19	病室ベッドサイドで患者の服薬介助をしていた時、患者が外した酸素チューブに引っ掛かり転倒し、骨折した。	60	2	417	100 ~ 299
10	2017	11	13~ 14	厨房内において、キャベツの千切りをしていた際、誤って左手人差し指を裂傷負傷した。	24	8	364	100 ~ 299
11	2017	11	10~ 11	入浴介助時ストレッチャーからベッドへ移動の際、患者様が点滴をしていたため2人で患者様を担ぎ上げ被災者が点滴を持ちベッド移動をしていたところ、酸素のルートが足に絡み長靴を履いていたため酸素のルートが足に絡んでいるのに気付かず転んでしまい、右膝を骨折した。	49	2	379	100 ~ 299
12	2017	11	17~ 18	透析室内の中央付近にて、透析に関わる看護業務中に通路のスロープと処置床との段差を踏み外し、左足首の関節外果を骨折した。	48	2	416	30~ 49
13	2017	11	10~ 11	病棟において入院患者の入浴介助等の業務中、入浴後の患者をストレッチャーで移動しようとした際、全開にしていた出入口の引戸が動き出し、ストレッチャーの先頭部に位置していた当該職員の右第5指の第2関節が引戸とストレッチャーの間に挟まれた。	43	7	362	500 ~ 999
14	2017	10	9~ 10	整形外科外来前で患者問診中、医師に呼ばれたため、小走りで向かったところ診察室前で勢い余って転倒し、尻餅をついた。	63	2	417	100 ~

				臀部痛により、起き上がることが出来なかった。				299
15	2017	10	15～ 16	職場（HCU）のフロアで。患者様の付けていたO2チューブ（O2ボンベと接続）に横を通りすぎようとした時に右足を引っかけ前方に転倒、その時にフロアで右足膝を殴打。	63	2	391	1000 ～ 9999
16	2017	10	9～ 10	4人部屋の病室にて男性患者様を車椅子からベットへ移乗介助中に受傷。移乗はトランスファーボードを使用して行い、その時の姿勢は中腰だった。ベットへ移乗した直後に右腰背部に重だるさとズキッとする疼痛を認めた。	31	19	911	500 ～ 999
17	2017	10	12～ 13	広場にて開催された病院フットサル大会に参加した。試合中相手のシュートを止めようとした際に、相手のシュートの勢いに負けて、膝をひねってしまった。	26	19	921	500 ～ 999
18	2017	10	11～ 12	病室で窓の掃除をしている際に、窓の外を拭こうとして、柵に前のめりになり身体を起こそうとしていた時に捻った。	73	19	419	300 ～ 499
19	2017	10	10～ 11	入浴介助中、患者さんに足湯を行おうと直径41センチ、深さ16センチの「たらい」に浴槽からお湯を汲み、患者さんの所まで運び、足元に「たらい」を下ろそうとした際に腰に激痛が走り、痛みのため動けなくなった。	43	19	921	300 ～ 499
20	2017	10	7～8	病院の居室にて、朝食前に、患者さんをベッドの上（頭側）へ移動させる為、もう1人の助手と2人で持ち上げ移動させようとした際、左腓腹筋（ふくらはぎ）を損傷。	44	19	911	100 ～ 299
21	2017	10	15～ 16	病院の敷地内にある半地下の蔵の中が台風21号の雨で浸水してしまい、その溜まっている水を外へ汲み出すために、蔵に通じる階段を下りている途中、滑って転倒し、背中を打った。	49	2	413	1～9
22	2017	10	15～ 16	患者様搬送のため、ストレッチャーで移動しようとした際、ストレッチャーがベットに引っかかり本人の手が離れた瞬間、ストレッチャーの車輪部分に足が引っかかり転倒、膝から床に着	56	2	362	100 ～ 299

				き、右膝を負傷した。				
23	2017	9	14～ 15	1階の事務所に行く為、階段を下りようと踊り場との扉を開けたところ、他の通路から出てきた職員2名と鉢合わせになった、急いで降りようと慌てた為、自身のズボン左裾に右足をひっかけてしまいバランスを崩し階段を踏み外した、前のめりのまま次の踊り場までの8段を落下し、左目下と頬、左前腕部を強打した。	48	1	413	100 ～ 299
24	2017	9	20～ 21	病院内西館3階廊下にて患者に用いる容器（ガーグルベース）を輸送中に躓き転倒、負傷する。	59	2	379	300 ～ 499
25	2017	9	13～ 14	患者用の浴室脱衣所で、入浴後にベッド上で仰臥位になっている患者をタオルで乾かしている時に、患者の足下にあるタオルに対して、ベッドの位置が高い状態があり、タオルを取り除こうと手を伸ばした時に腰から背中にかけて激痛が走った。	33	19	379	300 ～ 499
26	2017	9	11～ 12	介護の送迎車の不具合が発生し、車の修理点検のため、会社で点検を受け、事業所に帰る際、車に乗り込もうとした時に足を滑らせ、駐車場に転落し、右大腿骨と右肩を強打した。あいにく雨天で滑りやすい状態であった。	56	1	221	10～ 29
27	2017	9	13～ 14	病院2階の洗濯場から台車にタオルを積んで運ぶ際に、足が台車に引っかかり、躓いて転倒、その際に右手を床について右手首を痛めた。	67	2	379	100 ～ 299
28	2017	9	11～ 12	昼食時、食堂で部屋の食事介助が必要な患者様の食事を準備している時、3段キャスターへお膳を乗せて配薬する際に、キャスターの正面に立ち、右側のお膳に配薬時、2段目の為1歩右足を出して、中腰になった。その時、左腰の筋肉がずれた感覚と激痛が走った。腰への負担が掛かった為と思われる。	56	19	362	300 ～ 499
				ヘルプに向かった外来処置室での処置看護中、ベッド上から寝たきり状態の体重の重い患者を2人で車椅子に移乗させてい				

29	2017	8	11~ 12	た。寝たきり患者の離床および移乗には、理学療法（医療者）によると5名で対処すると書かれているが、2人で移乗を行なったためかなりの負担がかかり、有害な状態であった。離床途中に腰の痛みが発生したが、仕事を抜けられる状態ではなかったため、無理して業務を続けていたところ、歩行困難に陥った。	48	19	921	50~ 99
30	2017	8	18~ 19	病室にて、車椅子からベッドに患者（60代男性）を抱えて移乗するとき、患者が体を動かしてバランスを崩し、左足を捻った。痛みはあったが、脹脛だったので筋を痛めたのだと軽く思っていた。その後も痛みは続き、三日後に内出血も出てきたので、市販の痛み止めでのいっていたが、痛みも増し、正座も困難になった。	47	19	911	300 ~ 499
31	2017	8	5~6	4階病棟のナースステーションで、足を組んで椅子に座っていた。巡視のために椅子から立ち上ろうとしたとき、足の感覚が無く、バランスを崩して転倒した。その際に右足を強く捻り、痛みと腫れがあったため受診した。	35	2	921	100 ~ 299
32	2017	8	11~ 12	食堂にて職員昼食リストの確認をしているとき、心室細動で意識を消失して転倒し、頭部左側を強打した。	61	2	417	500 ~ 999
33	2017	8	15~ 16	精神科病棟のデイルームで、入院患者が不穏になり、それを止めようとして走ったところ、床にジュースが撒かれていた。濡れていたことに気付かず、滑って転倒し、腰部を強く打ちつけた。	30	2	417	300 ~ 499
34	2017	8	12~ 13	分娩室で、分娩のため産婦を分娩台に乗せ、分娩体位をとっている際、産婦の左側に立ち、分娩間接介助のため、外回り援助の作業中、陣痛発作が発来した。突然、産婦に左手首を強く握られ、思い切り外側へ捻じられた。そのまま発作が治まるまで放してもらえなかった。	58	90	921	50~ 99

35	2017	8	9~ 10	病棟の病室内で患者1名のオムツ交換を終了して動こうとしたところ、その患者のバルーンカテーテルバッグの紐が足首に絡んでいた。歩こうとした際に気付いたが転倒し、別の患者のベッドボードにぶつかり、床に転倒して左肩を強打した。	53	2	379	100 ~ 299
36	2017	8	22~ 23	病院の病室内において、移動に介助が必要な入院患者が車椅子に乗る際、患者を支える介助をしていたところ、被災者がバランスを崩した。足を着こうとした場所には車椅子の足置きがあり、それを避けたところ、左足背外側を下にして着地してしまい受傷した。	42	2	911	1000 ~ 9999
37	2017	8	10~ 11	介護職員1名が車椅子患者3名を2階までエレベーターで搬送していた。エレベーターが2階フロアに到着したので、扉開延長ボタンを押して、2人の患者を降ろしていた。車椅子患者1名がエレベーターの中にいる階段で扉が閉まりかけたため慌てて乗車口にあるエレベーターボタンを押そうと駆けつけたところ、つまずき転倒した。	70	2	416	300 ~ 499
38	2017	7	10~11	入浴補助で着脱の介助時に腰を痛めた。	33	19	911	10~ 29
39	2017	7	10~11	病室にてリハビリ訓練のため患者を車イスに移乗しようとした時、腰でゴリと音がして激痛が走り、全く動けなくなった。	55	19	921	100 ~ 299
40	2017	7	16~17	利用者さんを自宅まで送り、利用者さん宅前で、病院へ戻るため車に乗ろうと左足を上げ、体をひねった際に右足の半月板に痛みを感じた。	68	19	921	100 ~ 299
41	2017	7	15~16	おむつ交換を病棟で行っている時に、患者さんを抱える際に足を踏んばったところ、左第4趾あたりがグジュという感触があった。捻挫と思って、湿布にて様子を見ていたが、痛みが増してきて、左第4趾骨折と判明した。	55	19	611	50~ 99

42	2017	7	14~15	4F浴室内で入浴介助業務を終え、更衣室で後片付けをしていた。補充のため中身が半分以上入ったシャンプーボトルを目線より少し上の棚に手を伸ばしボトル上部（ポンプ部分）を持ち取ろうとしたところ、ふたが完全に閉まっていなかったのかポンプからボトル下部（本体部分）が外れ棚から落下、シャンプー液が飛び出し、左目に入った。すぐに水道水で洗浄したが、目が開けられない状態だった。	64	12	519	100 ~ 299
43	2017	7	16~17	交差点に向かって、渉外営業後、帰局しようとバイクで走行中、急な大雨に遭い、視界もあまりよくないところ、直進から右折レーンに入る車に気をとられたこともあり、ハンドル操作を誤り、濡れた路面の線上で、スリップして、転倒した。内務業務をしていたが、通院加療の経過が思わしくなく、3週間の休業加療との診断を受けた。	63	2	417	500 ~ 999
44	2017	7	11~12	調理場で、合成調理機で人参を千切りにする時に、人参を持ったまま機械に投入してしまい、回転する刃部に右示指が当たってしまった。	41	8	165	100 ~ 299
45	2017	7	11~12	4F機械室より廊下に出る際、少々床が水濡れしていた。長靴で一步踏み出した時、床で滑り転倒。左側面の左目上部、左手首付近、左腰部を床に強打。各部痛みがあったが、中でも左手首に激痛が走った。	68	2	419	100 ~ 299
46	2017	7	13~14	病棟内にて、リネン交換作業のため布団を持って運んでいたら、足元が滑り、布団をかかえたまま、前方に転倒、右手首と指を骨折、捻挫した。	55	2	417	300 ~ 499
47	2017	7	17~18	北棟5階5B病棟廊下において、配膳車からお膳を出そうとした時に、配膳車が勝手に動いてしまい、右腕全体を壁と配膳車の間に挟み、右手親指と手首から上の右腕全体を負傷。	45	7	362	500 ~ 999
48	2017	6	10~	車椅子の利用者の入浴後、車椅子を入れ替えのため2名で対応中、正面より支えて立ち上げようとしていた時、利用者と共に	54	2	911	300 ~

			11	バランスを崩し、浴室内で転倒した。				499
49	2017	6	13～ 14	雨が止んだ後、駐車場に設置されている照明の点灯確認のため、脚立を使用し、1m60cm程度の高さで作業していた。その際に、脚立の下部接地部が滑り、脚立とともに前方へ滑るような体勢で転倒し、胸部を地面で強打した。	61	1	371	500 ～ 999
50	2017	6	17～ 18	当院5病棟ホール扉前で配膳車を搬送中、鍵を開けようとした時に床で足をとられ、左脚後下腿部を捻挫し痛めた。痛みが強く足が上がらなかった。左腓腹筋断裂と診断を受けた。	54	19	417	100 ～ 299
51	2017	6	8～9	病棟の廊下で下膳中にナースコールが鳴り、訪室しようとしたところ、廊下の床に左足が突っ掛かり、足首からブチッと音が鳴り、歩行することが出来なくなった。	47	19	417	500 ～ 999
52	2017	6	15～ 16	8階庫内で、リネンを棚の上に載せようと脚立に乗って作業をしていたところ、脚立が揺れてバランスを崩し、脚立の一番上から床に落ち、その時に左手をついた。	59	1	371	500 ～ 999
53	2017	6	9～ 10	OT室前ホールを歩行中、床に水たまりがあることに気付かず、スリッパし転倒してしまった。背部から倒れたため、左背部、左後頭部を近くにあったソファ、及び床に打ち付けてしまった。被災直後に頭痛・吐き気があり、背部痛も持続しており、頸部・背部・頭部挫傷となった。	65	2	417	100 ～ 299
54	2017	6	19～ 20	病棟の看護室で申し送り中に、患者家族から声がかかり、後程対応すると返答した。その態度が悪いと、1時間以上廊下（病室前）で怒号があり、謝罪しても許しを得られず、大声で怒鳴るなど言葉の暴力があり、強い精神的ダメージを受け、心身疲労状態で休養している。	29	90	719	1000 ～ 9999
55	2017	6	10～ 11	朝のケアが一段落し、オムツ車置き場で片付けをしている時、ナースコールが鳴り、対応しに行く際、振り向いて歩き出した瞬間、左足からグキッと音がし、時間が経つにつれて痛み出し	45	19	921	300 ～

				てきたものの、我慢出来る痛さであったため、様子を見ていた。その後、痛さが治まらず受診に至った。				499
56	2017	6	18～ 19	厨房内で、お膳を洗浄室に運んで来た際に転倒した。自力で起き上がれず、骨折した。床のタイルが濡れていて、滑り易くなっていたことが一因と思われる。	65	2	417	100 ～ 299
57	2017	5	11～ 12	職員食堂内にて、他職員が職員食を職員食堂内の冷蔵庫近くでこぼした為、他職員と共に清掃している最中に、もう1人の他職員が冷蔵庫の扉を開けていることに気付かず、立ち上がった際に冷蔵庫の扉にて背中を強打した。	41	3	391	100 ～ 299
58	2017	5	0～1	病棟内にて、数ヶ月前にスライドボードを利用した入浴介助に伴う患者の運搬と、当月と翌月に入浴介助業務を行い、それ以外は病棟内で看護師一般業務を行っている。当月に入院患者に疥癬の診断があり、病棟内で感染拡大予防策を強化されたが、身体の一部に発赤と掻痒感があり、疥癬と診断される。	45	90	911	100 ～ 299
59	2017	5	2～3	訪問入浴を利用している利用者様宅で、入浴後ベッドに利用者様を移動し服を着衣した後、利用者様のベッド上での位置を整える為、頭側から利用者様の両脇に手を入れて引き上げる際にベッド枠に肋骨を打ちつけた。	51	3	379	100 ～ 299
60	2017	5	8～9	出勤時、ユニフォームに着替えるため、病院敷地内の女子ロッカーのあるプレハブに向かっていったとき、道中の急な坂道を下っていたところ、滑って転倒した。その日は、雨も降っており路面は滑りやすい環境にあった。また、その道は雨の日以外であっても転倒しそうになる程の勾配であり、手すり等の安全策もなされておらず非常に危険であった。	26	2	417	1000 ～ 9999
61	2017	5	8～9	出勤時、就業先敷地内を歩行中、低い鉄板のスロープを通った際に雨で鉄板が濡れていたため足を滑らせ転倒し、左足首を捻った。	44	2	417	1000 ～ 9999
				放射線科第1カテール室内で患者さんの抹消ルートを延長し				

62	2017	5	7~8	ている際に、カテーテル台の下に潜り作業をしていた。滅菌操作で治療を行うためドレープが患者さんにかかっており、機械を操作する放射線技師から本人が作業している位置は死角となり、機械が可動式右足を挟まれる状態となった。	39	7	169	500 ~ 999
63	2017	5	10~ 11	D病棟2階介助者用トイレにおいて、患者様の排泄終了後、トイレから車イスへの移動の際、患者様の前に立ちトイレから立ち上がる介助をした。介助をした際に腰に痛みが発生し、腰痛と左下肢のしびれが出現し立っていることが出来なくなってしまった。	42	19	921	300 ~ 499
64	2017	5	11~ 12	病院内の整形外来待合室前で、患者様に診察終了後の会計ファイルを渡す際に、椅子の脚に躓き転倒した。	66	2	417	500 ~ 999
65	2017	5	15~ 16	病室で転落防止のために床敷きしているマットレスに寝ている患者様を、2人1組で持ち上げて車イスに移乗させようとして、患者様の上半身を背中側から抱きかかえ車椅子に乗せようとした時、腰を捻ってしまい痛みが走った。	51	19	921	100 ~ 299
66	2017	4	13~ 14	ナースステーションで作業し、病室に向かう際にナースステーション出入口のところでつまずいて、ドアの枠部分に頭部を強打した。	60	2	417	100 ~ 299
67	2017	4	13~ 14	病室にて口腔ケアを介助施行中、認知症があり絶食点滴中の患者様に対し、口頭で開口を促し口を開けてもらったところに手袋をつけ、右手第2指にガーゼを巻いた手で口腔粘膜清掃をしようとした際に噛みつかれた。	34	90	719	100 ~ 299
68	2017	4	9~ 10	院内健康診断受診に係る採血室での採血にて、血管が出にくい為、手首近く（甲側）に針を刺し、採血をする。採血後、採血部位に痛み及び痺れが生じる。数日が経過するが、痛み及び痺れが取れず、蛇口を回せない等、日常生活に支障をきたしている。	53	8	364	500 ~ 999

69	2017	4	14~ 15	ウェラー浴室内で患者にリハビリパンツとズボンの更衣援助中、右側頭部を叩かれた。自分以外にスタッフは2人援助に入っていたが、瞬時の動きで防御する事ができなかった。認知症があり入浴前から不穏状態で、攻撃的な発言やスタッフへの暴力行動がみられていた。	30	90	921	500 ~ 999
70	2017	4	9~ 10	入浴介助作業のため、患者さんを車椅子から入浴用車椅子に移動してもらう際、患者さんの身体をささえて、自分の身体を左から右に捻った時に腹部の筋肉全体に痛みがあり、その後、痛みがひどくなった。	73	19	921	300 ~ 499
71	2017	4	7~8	勤務先の駐車場で車から降り、駐車場から病院へ向かうところ、じゃり道から道路に出る際の段差で右足首を捻ってしまった。	22	19	417	500 ~ 999
72	2017	4	14~ 15	病棟内廊下にて、両手に体交枕を持ち歩いていたときにつまずき転倒し、左手をつき受傷した。	49	2	417	100 ~ 299
73	2017	3	23~24	栄養管理室の調理場内で、粥椀に入れたお粥を患者さんのお膳に乗せようと運んでいる際に、手で3個積み重なるように持っていた粥椀のバランスをくずし、お粥が左前腕にかかり受傷した。	20	11	379	500 ~ 999
74	2017	3	12~13	病棟1階女室詰所内で昼休憩中、流し台にある自分のコップを取ろうとして湯沸かしポットの蒸気出口の上に右前腕部が当たり、お湯もちょうど90度から100度に沸騰中だったため火傷をしてしまった。すぐに患部を水道水で冷やそうとあてたため、上皮がはがれてしまい重症になった。	58	11	341	50~ 99
75	2017	3	10~11	保育に必要な用品（リボン等）を学外の店舗へ購入に行くため、通勤に使用している自家用車を駐車場に取りに行った際、駐車場の車止めブロックに躓き転び、左膝を強打し、左後十字	48	2	418	1000 ~ 9999

				靱帯断裂を負った。				
76	2017	3	10~11	東病棟の患者を西病棟の特浴室までストレッチャーで一人で搬送中、腰を痛めた。	34	19	611	300 ~ 499
77	2017	3	10~11	病棟廊下で患者の尿失禁の対応中、オムツを取りに行こうと病室から出た時に、靴の裏に尿がついていたため滑り、中央トイレの前にある黄色の点字ブロックに躓き、とっさに手をつき転んだ。	54	2	418	300 ~ 499
78	2017	3	9~10	洗面所で患者A（身長161cm、体重80.5kg、男性25歳、知的障害）の洗面介助のため、患者Aの正面に立ち電動カミソリでひげを剃っていた際、患者Aが被災者の顔をなめるような仕草をしたため、患者Aの体を手で押さえたところ、患者Aが被災者の頭を両手で挟むように数回叩いた。両耳の閉塞感と音や声の聞こえづらさを感じるようになったが、その日は経過観察をすることにした。しかし、数日経っても両耳の閉塞感と聞こえづらさが続いた。	47	90	911	100 ~ 299
79	2017	3	11~12	4階病棟ナースステーション前の廊下にて、同僚を呼び止めようとしたところ、サンダルが床に貼りついたような状態になり、バランスを崩して転倒した。	63	2	417	100 ~ 299
80	2017	3	8~9	出勤時に病院敷地内の坂を下っているとき、急いでいたため片足のバランスを崩して足を捻った。	32	19	417	300 ~ 499
81	2017	3	8~9	仕事のため駐車場に車をとめ、走って道をはさんだ建物の職員用入り口付近（アスファルト）で前方に転倒した。その際に下顎を殴打し出血し、下顎が不安定となり、骨折のため入院した。	52	2	911	30~ 49
82	2017	3	8~9	駐車場内を歩行中、アスファルトが凍結しており、足を滑らせ後方に転倒し、左肘を強打した。疼痛はあるが業務を実施し	48	2	719	100 ~

				ていたところ、徐々に疼痛が悪化し業務継続が不能となる。				299
83	2017	2	8~9	病棟中の1階病棟から2階病棟に上がる1階階段踊り場で、患者様の洗濯物を大きな袋に入れて屋上の洗い場に運ぼうとした時に、洗濯物を入れる大きな袋を持ち上げ階段を上ろうとした時に袋の裾を踏み転倒してしまった。右側に洗濯物があり、右足は大丈夫だったが左足を打ちつけてしまった。	65	2	413	50~ 99
84	2017	2	17~18	1病棟（病院施設内）において患者様がこぼしたお茶で床が濡れており気付かずにその場所を通った時、足を滑らせ転倒した。その際左膝を捻った。	46	2	417	100 ~ 299
85	2017	2	2~3	夜勤中、患者の部屋（個室）へ訪室すると、夜間せん妄により帰宅したいと強い訴えがあり、説得するも拒否あり。他スタッフへ救援要請中に患者が急に部屋から出ようとしたため、止めようとした際、首を絞められたり壁に体を強く押しつけられたりした。	25	90	921	1000 ~ 9999
86	2017	2	11~12	病棟5号室に於いて、患者の体位を整えるため、ギャッジダウンしベッドの高さを変え、患者の左側より腰部と背部を支える様に前傾姿勢で両上肢を差し込んだ際、全介助であったため患者の体重が一気に腰部へかかり、スペースが狭く体勢を変更出来ないまま移動を行ったため受傷してしまった。	37	19	921	500 ~ 999
87	2017	2	22~23	病院敷地内の駐車場で帰宅途中、駐車場の外灯が全て消えていて真っ暗な中、高さ80cm位の駐車場通行止めに右足が引っ掛かり転倒し腰を捻りながら強打した。	44	2	419	100 ~ 299
88	2017	2	11~12	病院敷地内の喫煙所から病院裏側の細道を通り食堂へ行く途中（昼休み中）、雪で傾斜になっていた凍結した路面で滑り、後方に転倒し臀部を強打した。	38	2	719	500 ~ 999
89	2017	1	10~	入院病棟裏のリネン類の搬入・搬出口にて、感染性衣類を持ち専用のボックスに入れようと歩行中、足元に2m径の排水パイ	60	2	416	300 ~

			11	プが置いてあり、足がそれに当たり、右膝から地面に着く形で転倒した。				499
90	2017	1	14～ 15	利用者の安静場所となっている高さ40cmある所から床に下りようとした際、足がすべり尻もちをつき、左手を床についた。当初はあまり痛みを感じなかったが、徐々に痛みが出てきた。	61	1	419	50～ 99
91	2017	1	12～ 13	昼食のお膳を片手に1人分ずつ（計2人分）持ち運んだ際、部屋の入口付近で床に躓きバランスが崩れ、左側を下にして転倒し、左肩と左膝を打撲した。左膝を内出血し、打撲痛があったが、歩行は可能であったため仕事を続けた。記録時に左肩の痛みが感じられ、左肘は曲がるが左腕を上げることができなくなり、後日に左肩腱板損傷の診断となった。	64	2	416	500 ～ 999
92	2017	1	19～ 20	階段を手にカストを持ち上がろうとした時、足先がつまずきバランスを崩し、手摺を掴もうとしたが掴めず、後方に転倒し、左手を強くついた。	43	1	413	100 ～ 299
93	2017	1	10～ 11	病室で患者を車椅子からベットへ移動しようとして、両脇を抱え立ち上がり、体の向きを変える一連の動作でタイミングがずれ自分の体で支えていた患者の頭が左脇を圧迫し、左肋骨を骨折した。	56	19	921	100 ～ 299
94	2017	1	20～ 21	夜勤中、介護職として勤務する2階の病室において、ベッドの中の患者の位置を上部にずらそうと、1人で抱きかかえた時、急激に腰に重さがかかり、ギックリ腰と肉ばなれとなった。	59	19	911	100 ～ 299
95	2017	1	4～5	被災者は学会で出張中、宿泊していたホテルのベットで睡眠中、早朝睡眠から醒めてトイレに行こうと立ち上ろうとした瞬間、右肩から床に落下し、右肩は変形していた。	69	1	379	300 ～ 499
96	2016	12	9～ 10	病棟デイルームにて、リハビリをする患者に声かけする準備をしている時、患者の周囲にはテーブルがある環境で、テーブルが濡れていたのでティッシュで拭き取った。ごみ箱に捨てるため急いで移動している時に、右足を滑らし右側に転倒した。	28	2	416	100 ～ 299

97	2016	12	10～ 11	脱衣所で、利用者の入浴後、ベッドにスライディングボードで移乗し、下に敷いていたバスタオルを持って上に平行移動した際に腰部の痛みを訴える。	31	19	921	100 ～ 299
98	2016	12	13～ 14	入浴介助が終了し、長靴で廊下へ出た右足から転倒し、左後頭部を打撲。	58	2	417	100 ～ 299
99	2016	12	0～1	救急室にて急患対応中、心エコーのコードに引っかかり転倒。その際、壁に右手から衝突する。	46	2	351	500 ～ 999
100	2016	12	11～ 12	患者の昼食後、ダイルームを清掃中、他のスタッフがモップで床を拭いている所を通り、床が濡れていたため滑って転倒。右手を床につき骨折する。	65	2	713	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。